

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立八雲中学校

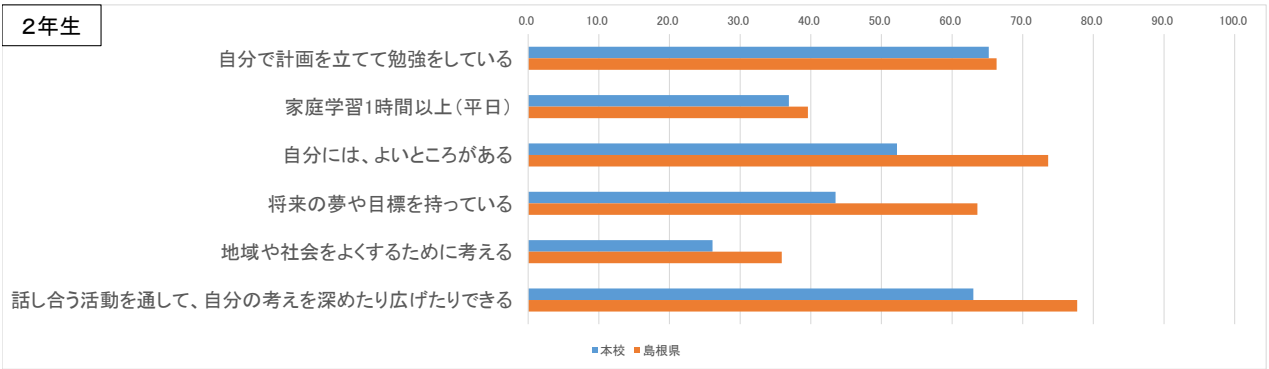
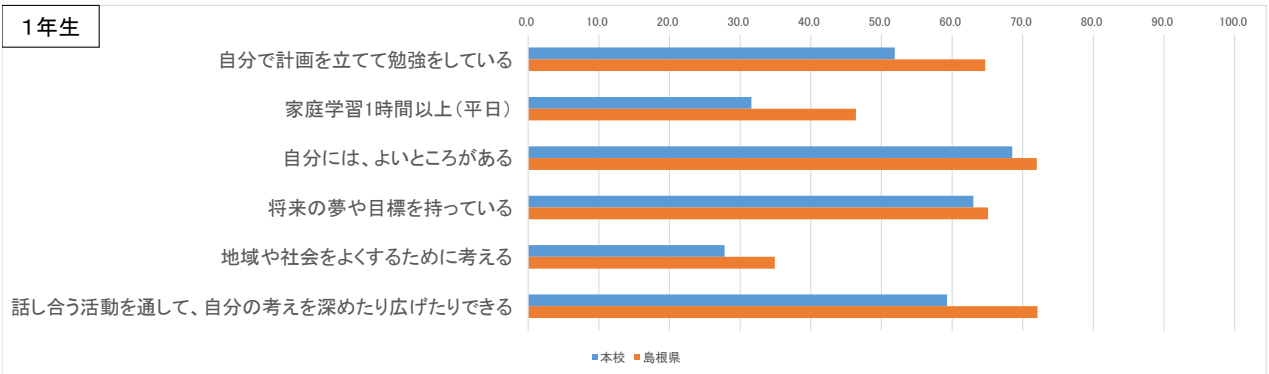
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○ 話す力や議論の場面での表現力が高く、市町村や県と比べても優れている。特に、意見を述べたり議論を深めたりする場面において、適切な言葉を選び、自分の考えを表現する力が備わっている。 ● 基礎知識の応用力が低く、全国平均を下回っている。特に、知識を使って新しい問題を解決する能力や、文章や数値データを読み解きながら考察する力の伸びが十分でない。	○ 話す力や議論の場面での表現力が高く、市町村や県と比べても優れている。特に、意見を述べたり議論を深めたりする場面において、適切な言葉を選び、自分の考えを表現する力が備わっている。 ● 基礎知識の応用力が低く、全国平均を下回っている。特に、知識を使って新しい問題を解決する能力や、文章や数値データを読み解きながら考察する力の伸びが十分でない。
数学	○ 平均正答率が高く、特に活用力が市町村や県と比べても優れている。具体的には、数と式、図形、関数の分野で高い正答率を示している。 ● 文字式の正答率が低く、全国平均を下回っている。また、式の計算があまり理解できていない。	○ 平均正答率が高く、特に活用力が市町村や県と比べても優れている。具体的には、数と式、図形、関数の分野で高い正答率を示している。 ● 文字式の正答率が低く、全国平均を下回っている。また、式の計算があまり理解できていない。
英語	○ 書く力が高く、市町村や県と比べても優れている。特に、場面に応じて書く英作文の正答率が高い。 ● 語彙力と知識理解が低く、全国平均を下回っている。特に、さまざまな英文の読み取りや長文の読み取りにおいて低い正答率を示している。	○ 書く力が高く、市町村や県と比べても優れている。特に、場面に応じて書く英作文の正答率が高い。 ● 語彙力と知識理解が低く、全国平均を下回っている。特に、さまざまな英文の読み取りや長文の読み取りにおいて低い正答率を示している。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○ 自分には良いところがあると考える生徒や、将来の夢や目標をもっている生徒は、項目の中では比較的多いことがわかった。 ● 家庭学習時間が少なく、それが学力調査の結果にも表れている。 ● 全体として、自己を批判的にみる生徒や自分の取組に自信をもていない生徒が多い傾向がみられる。 ● 地域や社会をよくするために考える生徒が少ない。	○ 昨年と比べ、自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が増加しており、県平均に近づいている。 ● 将来の夢や目標をもっている生徒の割合が著しく低い。 ● 自分自身や自分たちの取組を否定的に見る生徒が多く、それが意識調査の各項目の低さや「自分には、よいところがある」という質問への肯定的回答の低さにつながっている。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 1年生 54 名 2年生 46 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)